

気象ビジネス推進コンソーシアム第8回運営委員会議事概要

- ・日時 平成30年3月15日(木) 13:00~14:35
- ・場所 気象庁5階 総務部会議室
- ・出席者 委員18名中、14名出席(3名代理出席、4名欠席)

○は、運営委員あるいは事務局からの発言を示し、→は運営委員の発言に対応する事務局の発言を示す。

<審議事項> (1) 人材育成WG、新規気象ビジネス創出WGメンバーの変更

【決定事項】

(株)アイシーエス、光陽無線(株)、ジオテック技術士事務所、(株)コム・アンド・コム、広島工業大学、(株)マルツ電波、ユニー(株)、(株)ルグラン、他1法人(非公開)が人材育成WGに入会することが承認された。

NextDrive(株)、(株)アイシーエス、光陽無線(株)、ジオテック技術士事務所、(株)コム・アンド・コム、シムヤマジオ合同会社、(一財)水源地環境センター、広島工業大学、(株)マルツ電波、ユニー(株)、(株)ルグランが新規気象ビジネス創出WGに入会することが承認された。

【主な意見交換】

○WGの人数が非常に増えているので、運営が大変になるが、両座長に運営をよろしくお願ひしたい。

<審議事項> (2) WXBC細則の改正

【主な意見交換】

○運営委員会に座長が承認した旨の報告をするように明記いただきたい。
→承知した。必要な修正を行ってご承認いただきたい。

<審議事項> (3) 平成30年度の運営委員会の開催頻度

【主な意見交換】

○開催頻度がH29年度より減るが、ニュースレター、会員向けなどヘインフォーマティブに広報を強化する形で運営委員会の皆様に動きを知っていただくこととしたい。

○提案内容で特段問題ない。WGは運営委員会とは別に開催されるはずで、運営委員会に了承を得る機会も必要になってくるので、座長等から運営委員会に連絡できるように配慮いただきたい。

○メーリングリスト(ML)で審議をできる仕組みはあったか。

→ある。WXBC規約第13条第6項に規定されている。

○確認であるが、WGへの加入は座長承認となったが、入会承認との整合性は大丈夫か。

→WXBC入会は会長承認であり、WG入会との整合性はとれている。

○コンソーシアム、WG の運営等に影響が出ないように配慮しつつ、運営委員会を開催していくこととする。

<審議事項> (4) WXBC における共催・協賛・後援等に関する規程

【主な意見交換】

- 細則の 15 条の記載が、後援・協賛・協力等となっており、今回の規程のタイトルと齟齬があると思う。
→細則 15 条の記載ぶりと変更させていただきたいがよろしいか。また、規程案第 4 条、第 5 条の誤字「沿う」の箇所も修正したい。
- 承認する。
- 後援を受けたければ、会員になってということか。
→第 5 条 4 項で認められれば会員外でも後援等は受けられる。
- 第 5 条 4 項は例外規定になると思うので、会員になってもらいつつというところか。
- 第 5 条 2 項に規約第 3 条の「目的」とあるが、第 3 条は「活動」であるので、修正が必要。
→第 3 条の「活動」と修正する。
- 後援等の承認は運営委員会ということは、3 か月毎になっているが、これでは期間が長すぎる。事務局からの説明を十分にさせていただく前提で、ML での決裁をとる運用としたい。

<審議事項> (5) WXBC ホームページの掲示板運用規程

【主な意見交換】

- 主語はだれなのか。
→会員及び事務局。投稿する本人が意識する必要があるという趣旨。
- それであれば、運用でなく、利用者規程としてはいかがか。
→運用する中で、心得があるという趣旨。
- 第 5 条の開示義務の主語を事務局にすべきである。第 6 条に事務局の記載が必要ではないか。
- 第 4 条の第十号は、事務局で削除ができるので、運営委員会ではなく、事務局でよいのではないか。
→変更してもよろしいか。
- 了承。
- 目的のあとに、対象者を明記してはいかがか。
→第 3 条として「利用者」の条を立てて、利用者を「会員及び事務局」と明記し、それに付随する修正を行うこととしたい。
- あらかじめ運営委員会のスケジュールを決めておけば、こういった承認についても、ML 開催とするか、実際に集まっての承認とするのか、判断ができるのではないか。
→それでは 6, 9, 12, 3 月で仮置きとさせていただきたい。追って事務局より日程調整をお願いさせていただきたい。
- 事務局で最終案を作ってください、確認を行うこととする。
- 掲示板はいつから運用開始できるのか。
→本規程が確定次第運用開始としたい。

- 掲示板が閲覧可能なのは、会員だけか。
→そのとおり。

＜報告事項＞（１）人材育成WG報告

- 地方セミナーの企画立案に関わっていただいた、管区気象台の担当者の方に感謝申し上げます。
明日の東京セミナーが終了したのちに、東京開催分について運営委員会にご報告したい。2年目のWG活動全体については、WG内勉強会といった新しい取り組みも含めて、昨年12月より検討を重ねている。更に詳細を検討した上で逐次ご報告したい。
- 16日のセミナーの中で、富士通エフ・アイ・ピーが講演させていただく。先日WXBCの会員にも加入させていただいた。地震の予報許可事業者として協力したい。
- 会長から総会時にご意見があったように、AIや技術、ビジネスマッチング等WG間の連携を考えながら進めていきたい。
- 気象データ分析チャレンジ！で使用した東京電力のデータは太陽光発電か。
- 太陽光以外を含むすべての電力関連データを対象とする。
- 経産省、IoT推進ラボが開催した第3回ビッグデータ分析コンテストの結果も参考にしたらよいと思う。また、セミナーでの気象データの紹介は毎回同じ内容であるが、ビデオを公開してはいいかがか。
→セミナーの動画も3月中に公開する。なお、気象データ分析チャレンジ！の動画についてはすでに公開済みである。
- 人材育成WGとの連携は今後検討していきたい。新規気象ビジネス創出WG内の実証実験で自発的な動きが出てくるため、WG内で共有をしながら進めていきたい。

＜報告事項＞（２）広報関係

- ツイッターの運用について、防災情報もビジネスではリスクヘッジに活用されることから、こういった内容もつぶやいていきたい。また、気象庁から新しい情報が出ました、という内容をつぶやいていきたい。

＜報告事項＞（４）今後のスケジュールについて

- 広い意味で気象ビジネスを東京オリンピック・パラリンピックで紹介するようなことができればと考えている。なにかご意見や取り組み予定があれば、お願いしたい。
- オリンピックに向けて、公共交通の情報がオープンになっていないので、オリンピックの間だけでも無償でみんなで出し合う働きかけなどを行っている。事前の準備としては、アプリを作成していく。交通と気象でマッシュアップ等をお願いしたい。
気象庁としては、アプリを作るというより、データをそういった場にどんどん出すという形がよいのではないか。
気象庁以外の動きとして、総務省であれば8Kテレビを見せるほか、おもてなしとして、個人認証したSuicaのようなもので、免税店での手続きを簡略化できるようにするもの等がある。
- WXBC以外のチャンネルも含めて、東京オリンピック・パラリンピックに向けた動きを調

査させていただきます。

以上